



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年8月1日

上場会社名 **株式会社 筑邦銀行**
 コード番号 8398

上場取引所 福岡証券取引所
 URL <http://www.chikugin.co.jp/>

代表者 取締役頭取 山下 洋
 問合せ先責任者 総合企画部長 東 暢 昭

TEL (0942)32 - 5353

(単位未満は切捨てて表示)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	4,678	(7.1)	575	(24.6)	512	(84.4)
19年3月期第1四半期	4,367	(1.1)	461	(26.6)	277	(75.2)
19年3月期	18,458	(3.8)	1,462	(28.2)	692	(26.4)

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	8	22		
19年3月期第1四半期	4	45		
19年3月期	11	11		

(注) 19年3月期の経常収益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対18年3月期比増減率。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率(注)	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年3月期第1四半期	591,227	35,091	5.5	530	28
19年3月期第1四半期	574,825	34,785	5.6	525	85
19年3月期	576,775	35,424	5.7	534	55

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権 - 期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	1 株 当 たり 配 当 金
(基 準 日)	第 1 四 半 期 末
	円 銭
19 年 3 月 期 第 1 四 半 期	
20 年 3 月 期 第 1 四 半 期	

3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	経 常 収 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
中間期	9,500 百万円 (7.2) %	860 百万円 (9.5) %	460 百万円 (8.2) %	7 円 38 銭
通 期	19,300 (4.5)	2,100 (43.5)	1,070 (54.5)	17 18

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 無

[(注)詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、平成 19 年 5 月 14 日に公表いたしました業績予想数値から変更ありません。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の経営成績につきましては、経常収益は、短期プライムレートなどの引き上げや市場金利の上昇により、資金運用収益が増加したことなどから前年同期比3億11百万円増収の46億78百万円となりました。一方、経常費用は、不良債権処理額が大幅に減少しましたが、金利上昇に伴い資金調達費用が増加したことに加え、株式等償却も増加したことなどから前年同期比1億97百万円増加しました。この結果、経常利益は前年同期比1億14百万円増益の5億75百万円となりました。

四半期純利益は、経常増益となったことに加え、特別利益に貸倒引当金の取崩益を計上したことなどから前年同期比2億35百万円増益の5億12百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

主要勘定の当第1四半期末残高につきましては、預金・譲渡性預金合計は、資金調達のコアとなる個人預金が順調に増加したことなどから前年同期末比158億86百万円増加して5,324億20百万円となりました。貸出金は、個人向けローンが減少した一方で、法人向け貸出が増加したことなどから前年同期末比19億76百万円増加して3,793億59百万円となりました。有価証券は、国債や事業債などの債券を中心に運用残高の増加を図ったことから、前年同期末比131億90百万円増加して1,309億82百万円となりました。また、純資産は内部留保により前年同期末比3億6百万円増加して350億91百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年3月期の連結業績予想につきましては、計画通り順調に推移しており、平成19年5月14日に公表いたしました中間期及び通期の業績予想に変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当ありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

当行は、中間(連結)財務諸表の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資家等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続きを採用しております。なお、四半期財務・業績の概況に関する計数は、監査法人による監査を受けておりません。

[簡便な手続の内容]

貸倒引当金は、平成19年6月末時点の債務者格付に基づく対象残高に、平成19年4月から6月末までの貸倒実績等を反映した平成19年6月末時点の予想損失率を適用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更
該当ありません。

(4) 有価証券評価損について

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成20年3月期第1四半期末において減損処理による有価証券評価損(255百万円)を計上しております。

5. (要約)四半期連結財務諸表

(1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考)前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
現金預け金	50,837	51,176	339	0.6	29,598
買入金銭債権	82	73	9	10.9	76
商品有価証券	320	166	154	48.1	234
有価証券	117,792	130,982	13,190	11.1	125,715
貸出金	377,383	379,359	1,976	0.5	393,454
外国為替	237	191	46	19.4	199
その他資産	6,017	6,520	503	8.3	5,714
有形固定資産	17,937	17,208	729	4.0	17,279
無形固定資産	166	2,429	2,263	1,363.2	1,598
繰延税金資産	2,258	3,055	797	35.2	2,900
支払承諾見返	9,545	8,264	1,281	13.4	8,888
貸倒引当金	7,756	8,202	446	5.7	8,880
投資損失引当金					4
資産の部合計	574,825	591,227	16,402	2.8	576,775
(負債の部)					
預金	507,268	526,709	19,441	3.8	515,067
譲渡性預金	9,265	5,710	3,555	38.3	3,491
借入金	5,806	6,487	681	11.7	5,986
外国為替	1	0	1	100.0	
その他負債	4,599	5,191	592	12.8	3,948
退職給付引当金	1,738	1,618	120	6.9	1,682
役員退職慰労引当金		340	340		472
再評価に係る繰延税金負債	1,813	1,813	0	0.0	1,813
支払承諾	9,545	8,264	1,281	13.4	8,888
負債の部合計	540,039	556,135	16,096	2.9	541,351
(純資産の部)					
資本金	8,000	8,000			8,000
資本剰余金	5,759	5,759			5,759
利益剰余金	13,354	13,970	616	4.6	13,613
自己株式	100	104	4	4.0	99
株主資本合計	27,014	27,625	611	2.2	27,272
その他有価証券評価差額金	3,539	3,197	342	9.6	3,820
土地再評価差額金	2,201	2,201	0	0.0	2,201
評価・換算差額等合計	5,741	5,398	343	5.9	6,022
少数株主持分	2,029	2,067	38	1.8	2,129
純資産の部合計	34,785	35,091	306	0.8	35,424
負債及び純資産の部合計	574,825	591,227	16,402	2.8	576,775

(注)記載金額は百万円未満を、増減率は小数点第1位未満を切り捨てて表示しております。

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増 減		(参考)前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
経 常 収 益	4,367	4,678	311	7.1	18,458
資 金 運 用 収 益	2,601	2,898	297	11.4	10,691
(うち貸出金利息)	(2,194)	(2,395)	(201)	(9.1)	(9,101)
(うち有価証券利息配当金)	(398)	(453)	(55)	(13.8)	(1,512)
役 務 取 引 等 収 益	492	494	2	0.4	1,981
そ の 他 業 務 収 益	1,157	1,197	40	3.4	4,823
そ の 他 経 常 収 益	117	88	29	24.7	962
経 常 費 用	3,905	4,102	197	5.0	16,996
資 金 調 達 費 用	73	299	226	309.5	592
(うち預金利息)	(40)	(269)	(229)	(572.5)	(480)
役 務 取 引 等 費 用	170	166	4	2.3	676
そ の 他 業 務 費 用	1,185	1,219	34	2.8	4,791
営 業 経 費	2,046	1,994	52	2.5	7,946
そ の 他 経 常 費 用	430	423	7	1.6	2,988
経 常 利 益	461	575	114	24.7	1,462
特 別 利 益	0	179	179		0
特 別 損 失	2	6	4	200.0	414
税金等調整前四半期(当期)純利益	460	748	288	62.6	1,048
法人税、住民税及び事業税	421	25	396	94.0	1,511
法 人 税 等 調 整 額	268	268	536	200.0	1,102
少 数 株 主 利 益 (は少数株主損失)	29	58	87	300.0	52
四半期(当期)純利益	277	512	235	84.8	692

(注)記載金額は百万円未満を、増減率は小数点第1位未満を切り捨てて表示しております。

(3) (要約)四半期連結株主資本等変動計算書

前年同四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

(単位:百万円)

	株 主 資 本				
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計
平成18年3月31日残高	8,000	5,759	13,232	97	26,894
当四半期中の変動額					
剰余金の配当			154		154
四半期純利益			277		277
自己株式の取得				2	2
自己株式の処分			0	0	0
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額 (純額)					
当四半期中の変動額合計			122	2	120
平成18年6月30日残高	8,000	5,759	13,354	100	27,014

(単位:百万円)

	評 価 ・ 換 算 差 額 等			少 数 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	土 地 再 評 価 差 額 金	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		
平成18年3月31日残高	4,334	2,201	6,536	2,006	35,437
当四半期中の変動額					
剰余金の配当					154
四半期純利益					277
自己株式の取得					2
自己株式の処分					0
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額 (純額)	795		795	23	772
当四半期中の変動額合計	795		795	23	652
平成18年6月30日残高	3,539	2,201	5,741	2,029	34,785

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位:百万円)

	株 主 資 本				
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計
平成19年3月31日残高	8,000	5,759	13,613	99	27,272
当四半期中の変動額					
剰余金の配当			155		155
四半期純利益			512		512
自己株式の取得				4	4
自己株式の処分			0	0	0
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額 (純額)					
当四半期中の変動額合計			356	4	352
平成19年6月30日残高	8,000	5,759	13,970	104	27,625

(単位:百万円)

	評 価 ・ 換 算 差 額 等			少 数 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	土 地 再 評 価 差 額 金	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		
平成19年3月31日残高	3,820	2,201	6,022	2,129	35,424
当四半期中の変動額					
剰余金の配当					155
四半期純利益					512
自己株式の取得					4
自己株式の処分					0
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額 (純額)	623		623	61	685
当四半期中の変動額合計	623		623	61	332
平成19年6月30日残高	3,197	2,201	5,398	2,067	35,091

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(参考)前期 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

(単位：百万円)

	株 主 資 本				
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計
平成18年3月31日残高	8,000	5,759	13,232	97	26,894
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当(注2)			154		154
剰余金の配当			154		154
当期純利益			692		692
自己株式の取得				15	15
自己株式の処分			1	12	11
土地再評価差額金の取崩			0		0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動 額(純額)					
連結会計年度中の変動額 合計			381	2	378
平成19年3月31日残高	8,000	5,759	13,613	99	27,272

(単位：百万円)

	評 価 ・ 換 算 差 額 等			少 数 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	土 地 再 評 価 差 額 金	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		
平成18年3月31日残高	4,334	2,201	6,536	2,006	35,437
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当(注2)					154
剰余金の配当					154
当期純利益					692
自己株式の取得					15
自己株式の処分					11
土地再評価差額金の取崩					0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動 額(純額)	514	0	514	122	392
連結会計年度中の変動額 合計	514	0	514	122	13
平成19年3月31日残高	3,820	2,201	6,022	2,129	35,424

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

平成19年度 第1四半期決算 説明資料

1. 損益の状況(単体)

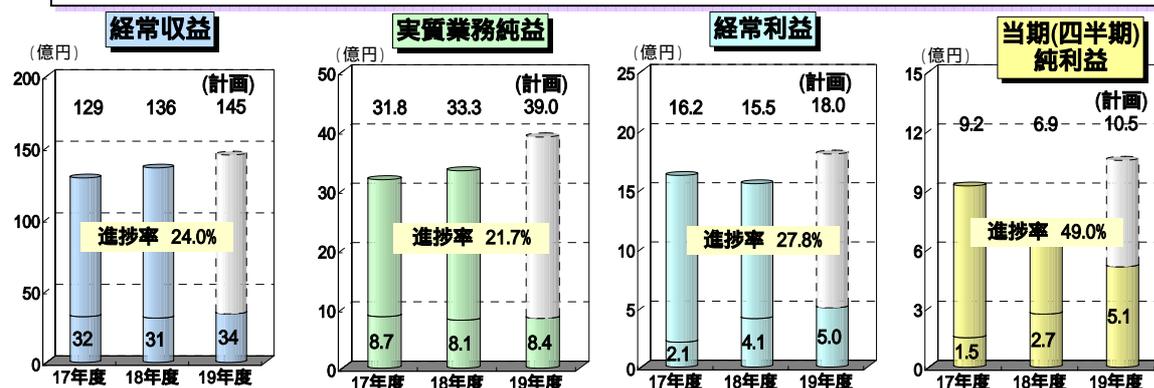
単位 百万円

	項番	平成19年度		平成18年度 第1四半期	平成18年度
		第1四半期	前年同期比		
経常収益	【14,500】 1	3,483	300	3,183	13,612
業務収益	2	3,398	308	3,090	12,689
資金運用収益	3	2,911	295	2,616	10,753
うち貸出金利息	4	2,409	199	2,210	9,164
うち有価証券利息配当金	5	453	55	398	1,511
役員取引等収益	6	471	2	469	1,887
その他業務収益	7	15	12	3	48
業務費用	8	2,549	427	2,122	9,291
資金調達費用	9	272	231	41	487
うち預金利息	10	270	229	41	481
役員取引等費用	11	187	△ 5	192	766
その他業務費用	12	46	20	26	84
一般貸倒引当金繰入額	13	—	148	△ 148	△ 68
経費(除く臨時処理分)	14	2,042	33	2,009	8,021
業務純益(2-8)	15	849	△ 118	967	3,398
実質業務純益(15+13)【3,900】	16	849	31	818	3,330
臨時収益	17	85	△ 8	93	922
うち株式等売却益	18	61	△ 5	66	798
臨時費用	19	433	△ 217	650	2,768
うち株式等償却	20	255	252	3	196
うち不良債権処理額	21	57	△ 433	490	2,087
経常利益	【1,800】 22	501	91	410	1,551
特別利益	23	355	355	0	0
うち貸倒引当金取崩額	24	351	351	—	—
税引前四半期(当期)純利益	25	849	441	408	1,138
四半期(当期)純利益【1,050】	26	515	238	277	695

(注) 【 】は平成19年5月14日に公表いたしました通期業績予想であります。

(1) 概況

経常収益 34.8億円	資金運用収益の増加などにより前年同期比3億円の増収となりました。 【通期業績予想に対する進捗率 24.0%】
実質業務純益 8.4億円	資金調達費用や経費の増加はありましたが、資金運用収益が増加したことから、前年同期比31百万円の増益となりました。 【通期業績予想に対する進捗率 21.7%】
経常利益 5.0億円	株式等償却の増加はありましたが、不良債権処理額の減少により前年同期比91百万円の増益となりました。 【通期業績予想に対する進捗率 27.8%】
四半期純利益 5.1億円	貸倒引当金が取崩となったことから、前年同期比238百万円の増益となりました。 【通期業績予想に対する進捗率 49.0%】 なお、平成19年5月14日に公表いたしました単体業績予想からの変更はありません。



(2)業務粗利益

>資金利益は、預金金利の引上げにより調達コストが上昇しましたが、短期プライムレートの引上げなどにより資金運用収益が増加したことから、前年同期比65百万円増加して26億39百万円となりました。
 >役務利益は、投資信託手数料が増加したことなどから、前年同期比7百万円増加して2億83百万円となりました。
 >その他業務利益は、債券売却損の増加により、前年同期比8百万円減少して30百万円の損失となりました。
 >以上の結果、業務粗利益全体では、前年同期比63百万円増加して28億91百万円となりました。

	項番	平成19年度		平成18年度 第1四半期	平成18年度
		第1四半期	前年同期比		
業務粗利益	1	2,891	63	2,828	11,351
資金利益	2	2,639	65	2,574	10,266
役務利益	3	283	7	276	1,121
その他業務利益	4	△30	△8	△22	△36

単位 百万円

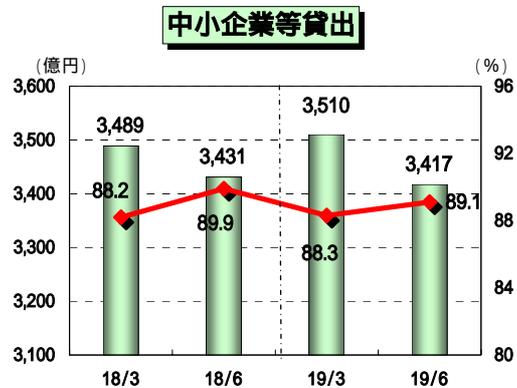
2. 資産・負債等の状況

(1)貸出金(単体)

>貸出金残高は、個人向けローンが減少した一方で、法人向け貸出が増加したことから前年同期比14億円増加して3,831億円(+0.3%)となりました。
 >中小企業等向け貸出金残高は前年同期比14億円減少して3,417億円(△0.4%)となりました。また、中小企業等向け貸出比率は前年同期比0.8ポイント低下して89.1%となりました。

	項番	19年6月末		18年6月末	19年3月末
		18/6末比			
貸出金残高	1	3,831	14	3,817	3,975
個人向け	2	770	21	791	780
個人向けローン	3	719	△48	767	732
法人等向け	4	3,060	35	3,025	3,195
地公体向け	5	98	4	94	162
大企業・中堅企業向け	6	315	25	290	302
中小企業向け	7	2,646	6	2,640	2,730
中小企業等合計(2+7)	8	3,417	14	3,431	3,510
中小企業等貸出比率	9	89.1	0.8	89.9	88.3

単位 億円、%

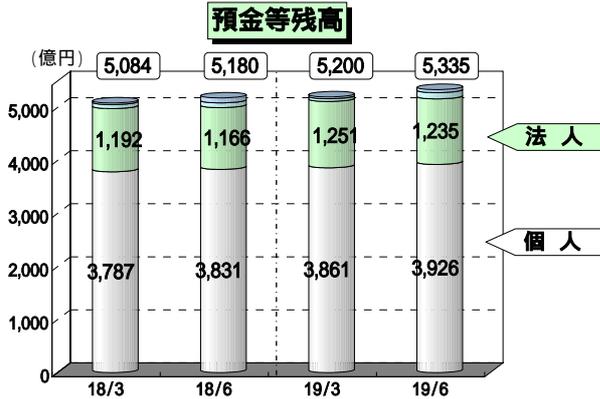


(2) 預金等(単体)

➤ 預金等残高は、個人預金が前年同期比で95億円増加の3,926億円となったことを主因に、前年同期比155億円増加して5,335億円（+2.9%）となりました。

	項番	19年6月末		18年6月末	19年3月末
			18/6末比		
預金等残高	1	5,335	155	5,180	5,200
預金残高	2	5,278	190	5,088	5,165
うち個人	3	3,926	95	3,831	3,861
うち法人	4	1,235	69	1,166	1,251
譲渡性預金残高	5	57	△ 35	92	34

単位 億円

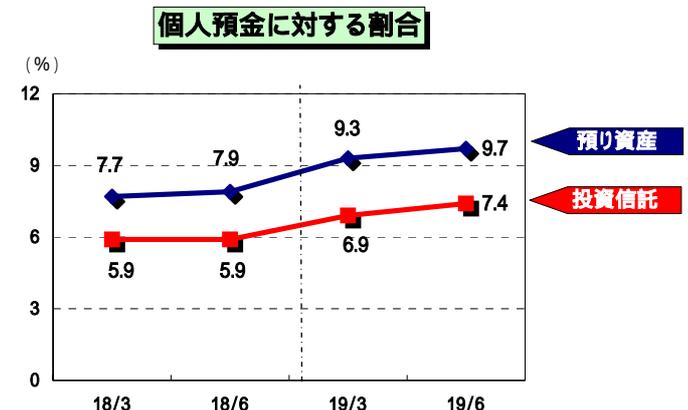
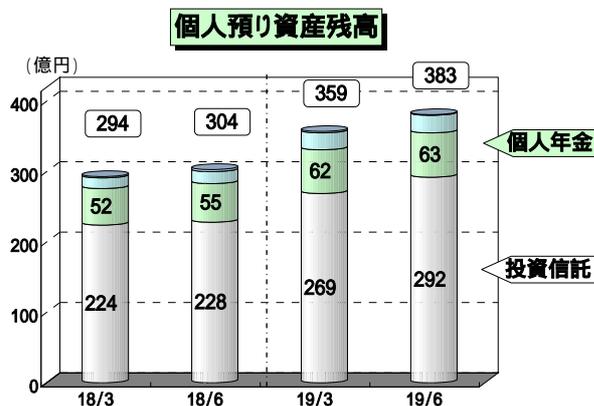


(3) 個人預り資産

➤ 個人預り資産残高は、投資信託を中心に増加し、前年同期比79億円増加して383億円（+25.9%）となりました。
 ➤ 個人預金に対する割合は、預り資産全体が前年同期比1.8ポイント上昇して9.7%、うち投資信託が1.5ポイント上昇して7.4%となりました。

	項番	19年6月末		18年6月末	19年3月末
			18/6末比		
個人預り資産残高	1	383	79	304	359
投資信託	2	292	64	228	269
個人年金	3	63	8	55	62
公共債	4	25	8	17	24
外貨預金	5	1	△ 2	3	2
個人預金残高	6	3,926	95	3,831	3,861
個人預金に対する割合	7	9.7	1.8	7.9	9.3
うち投資信託	8	7.4	1.5	5.9	6.9

単位 億円、%



(4) 時価のある有価証券の評価差額(連結)

➤ その他有価証券の評価差額(含み益)は、株式等の評価差益が減少したため前年同期末比5億円減少して53億円となりました。

単位 百万円

	項番	19年6月末		18年6月末		19年3月末	
		時価	評価差額	時価	評価差額	時価	評価差額
その他有価証券	1	126,777	5,393	87,935	5,967	121,497	6,442
株式	2	15,783	6,433	15,549	6,711	16,301	6,893
債券	3	80,057	△ 833	68,537	△ 841	78,139	△ 524
その他	4	30,936	△ 206	3,848	98	27,056	73

(注) 1. 各四半期末の「評価差額」は、各四半期末の帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後。)と時価との差額を計上しております。

2. 満期保有目的の債券に係る帳簿価額と時価との差額は以下のとおりであります。なお、子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。

単位 百万円

	項番	19年6月末		18年6月末		19年3月末	
		帳簿価額	差額	帳簿価額	差額	帳簿価額	差額
満期保有目的の債券	1	1,879	4	2,109	11	1,879	12

3. 自己資本比率(国内基準)

➤ 平成19年9月末の連結ベースの自己資本比率及びTier I 比率の予想値は、それぞれ平成19年3月末比横這い程度の9.8%、8.6%を見込んでおります。

	項番	19年9月末(見込)	19年3月末(実績)
連結自己資本比率	1	9.8%程度	9.83%
連結Tier I 比率	2	8.6%程度	8.67%

(注) 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

4. 金融再生法ベースの 카테고리による開示

銀行単体の不良債権残高は、前年同期末比11億円減少して215億円、開示債権比率は前年同期末比0.31ポイント低下して5.49%となりました。

【単体】

単位 百万円、%

	項番	19年6月末		18年6月末	19年3月末
			18/6末比		
破産更生債権等	1	3,363	△ 323	3,686	3,180
危険債権	2	12,286	1,440	10,846	13,171
要管理債権	3	5,898	△ 2,311	8,209	5,153
金融再生法開示債権	4	21,549	1,192	22,741	21,505
(部分直接償却額)	5	(3,015)	(777)	(2,238)	(2,542)
正常債権	6	370,679	1,781	368,898	385,647
総債権合計	7	392,229	589	391,640	407,152
開示債権比率	8	5.49	0.31	5.80	5.28

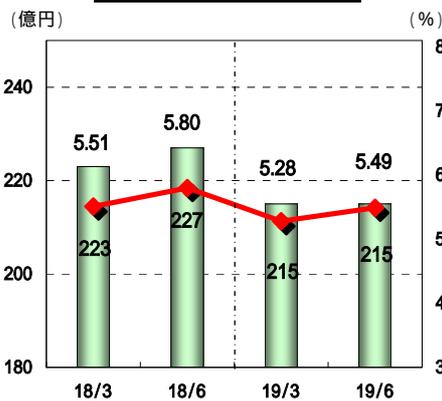
【連結】

単位 百万円、%

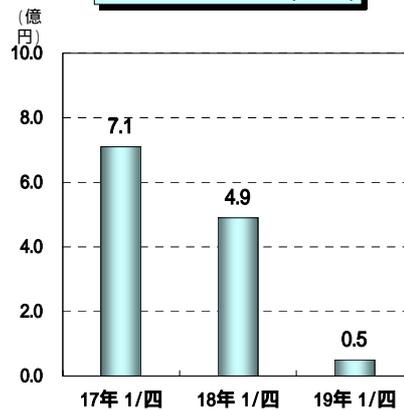
	項番	19年6月末		18年6月末	19年3月末
			18/6末比		
破産更生債権等	1	3,916	△ 201	4,117	3,734
危険債権	2	12,286	1,440	10,846	13,171
要管理債権	3	5,898	△ 2,311	8,209	5,153
金融再生法開示債権	4	22,102	1,071	23,173	22,059
(部分直接償却額)	5	(3,015)	(777)	(2,238)	(2,542)
正常債権	6	366,860	2,355	364,505	381,505
総債権合計	7	388,962	1,284	387,678	403,564
開示債権比率	8	5.68	0.29	5.97	5.46

(注) 上記の平成19年6月末及び平成18年6月末の計数は、各四半期末の資産の自己査定結果に基づき、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の 카테고리により分類しております。

不良債権の状況(単体)



不良債権処理額(単体)



※当四半期の不良債権処理額には、特別利益に計上している個別貸倒引当金の取崩額4億95百万は含めておりません。

本件に関するお問い合わせ先

総合企画部 (0942)32-5353
佐田・佐々木